



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

# かけはし

氷見

KAKEHASHI



2024  
秋  
Vol.61

患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



TOPICS ●トピックス

## 夏休み親子ふれあい フェスティバル

トラ(いしかわ動物園・能美市)

CONTENTS ●もくじ

TOPICS	夏休み親子ふれあい フェスティバル	P.01
	島中先生の診察室から	P.03
	診療コラム	P.04
	病院★ニュース	P.05
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	デイケア通信	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院のホームページ  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/>



金沢医科大学氷見市民病院

# 第10回 夏休み親子ふれあいフェスティバル



日時  
令和6年8月25日(日)  
9:00~12:00

会場  
金沢医科大学  
氷見市民病院

8月25日(日)に第10回夏休み親子ふれあいフェスティバルを開催しました。

今年のテーマは、「いざという時にそなえよう」と題し、氷見市や高岡市等から小・中学生と保育園児38名、保護者28名の合計66名が参加し、医師による講演や、病院で実際に使用している医療機器を使ったさまざまな体験を行いました。

このイベントは今年で10回目を迎え、コロナ禍で実施できなかった年度もありましたが、昨年からの復活しての開催となりました。

はじめに、神田最高経営責任者から開会の挨拶があり、続いて、胸部・心臓血管外科の小畑医師が『「医師」ってどんな仕事?』と題し、病院で医師が行っている実際の仕事内容や、医



開会のあいさつ  
(神田CEO)



講演の様子



講師(小畑医師)

師としての心構えについて話したあと、災害時における医師の役割について、今年1月の能登半島地震の際に避難所で被災者への救護活動にあたったエピソードを交え、多岐にわたる内容で講演を行いました。

講演終了後は、場所を移動し、4コースを親子で回り、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいそれぞれのブースで体験を楽しむ様子がみられました。



閉会のあいさつ  
(伊藤病院長)

参加者からは「初めて参加したが、医療への興味が深まった」、「普段体験できない事をさせてもらったので、子供にとっても親にとってもいい経験になりました」、「各コーナーが混みあわないように工夫されていて良かったです。職員の皆さんに丁寧に教えていただき感謝しています」、「子供のレベルに合わせて説明してくださり、親子ともども楽しめました」などの感想が寄せられました。

最後に、伊藤透病院長から「夏休みの一日の楽しい思い出を持ち帰っていただきたい」との閉会の挨拶がありイベントを締めくくりました。たくさん子どもたちに参加いただき、職員にとっても日常業務とは違う楽しい1日となりました。



実際の分包機を用いて、薬に見立てたラムネやチョコレートで処方薬を作成



薬剤師に教わりながら、塗り薬等を使った調剤体験



氷見消防署隊員による指導のもと水消火器を使って消火体験



実際の救急車に乗りこみ車内を見学

体験 /

# 3 くすり調剤体験コース



体験 /

# 4 救急車見学・水消火器体験コース

体験 /

# 1 看護体験コース



聴診器を使った実際の聴診体験、心電図モニターでの測定体験



体験 /

# 2 ギプス・リハビリ体験コース



整形外科の医師によるギプスの装着・カット体験



理学療法士の指導のもと、ギプスを巻いての歩行・車いす体験をゲーム感覚で実施

はたけなか  
畠中先生の  
診察室から

整形外科

畠中  
千枝

CHIE  
HATAKENAKA

本

年7月から金沢医科大学から  
当院整形外科に出向してまい  
りました畠中千枝です。現在わたしを  
含めて4人の常勤医師で診療にあたっ  
ており、その中でも1番経歴の短いわ  
たしで大変恐縮ではありますが、自己  
紹介もかねてお話しさせていただい  
たらと思います。

わたしは石川県金沢市出身で、ずっと  
北陸の地で育てられてきました。小学  
2年生の頃から剣道を始め、中学・高  
校・大学でも剣道部に所属し、面白い  
先輩方や真面目な後輩達と切磋琢磨  
しながら部活に励んだ思い出があり  
ます。

大学4年生の時に、1年で一番大き  
な大会に出た際、わたしは試合中に相  
手との鏝迫り合いで押し負けてしま  
い左膝を負傷し、なんとかその日の試  
合を乗り切りましたが、全試合終了し  
地元の整形外科へ受診して受けた診



断は「左膝前十字靭帯損傷」。幸いにも  
手術はせずに保存療法で経過をみる  
ことができましたが、その頃からス  
ポーツ外傷について少し興味を持つよ  
うになりました。また、わたしの姉が県外  
ではありますが、ひと足先に整形外科  
医として働いていており、女医さんで

整形外科、かつこいいい...!と思った記  
憶があります。現在はスポーツ外傷だ  
けではなく、骨折や変性疾患、骨粗鬆  
症など、整形外科全般的に診療にあ  
たっており、先輩方だけでなく患者さ  
んからもたくさん勉強させていただ  
いています。

よく、「整形外科で女医さんで珍し  
いね」と言われます。実際本院の医局  
員でも現時点では女性医師はわたし  
だけであり、全国的にも他の科と比較  
して少ないのが現状ですが、患者さん  
は男女関係なくこれら、中には女性医  
師を希望される方も少なくないので  
はないでしょうか。男女問わず、痛み  
を訴えて受診される患者さんに安心  
して治療を受けていただき、笑顔に  
なつてまた日常生活を送っていただけ  
るように精進してまいりますので、今  
後ともよろしく願っています。



#### 畠中千枝 ★ 略歴

##### 【学歴・職歴】

2022年4月 金沢医科大学病院 整形外科 医員  
2024年4月 金沢医科大学病院 整形外科 助教  
2024年7月 金沢医科大学氷見市民病院 整形外科 助教

# 診療コラム

## 地域医療への取り組み

〜へき地巡回診療について〜

2024(令和6)年現在、当院は、富山県内における主要なへき地医療拠点病院の1つに指定されています。へき地医療拠点病院の主な役割は、へき地巡回診療を通して地域住民への医療の提供や代診医の派遣、へき地診療所の支援などを行うこととあります。



氷見市は平野部が狭く、大部分を丘陵・山間部で占められ、市内のほとんどの医療機関は中心の平野部に集中しています。周辺地域にはバスなどの公共交通の便が悪く、また高齢者世帯が多いため、一般的な医療を受けるにあたって非常に不便な状態の地区があります。このような無医地区あるいは無医地区に準ずる地域住民の健康管理と最低限必要な診療の確保をたしかかなものとするを、へき地巡回診療の主たる目的としています。

当院では、総合診療科が中心となり、医師、看護師、薬剤師、事務員、運転手のチームスタッフがその役割を担っています。また、将来の地域医療に貢献することが期待される医学部の学生や研修医にも積極的に参加してもらっています。へき地巡回診療が通常の病院・診療所での診療と最も異なる点は、和気あいあいとした雰囲気の中であ

まり時間を気にせず、緊張することもなく、雑談をしながら普段思っていることを自然に話し合える環境があることであろうと思っています。へき地診療を通して、患者さん同士のコミュニケーションの場にもなっています。へき地巡回診療は、まさに「医の原点」であり、我々医療スタッフも充実した時間



を共有してもらっています。今後はますます住民の高齢化が進むと推定される現状において、へき地の保健・医療・福祉の安定した供給・確保はいつそう重視すべき課題と捉えています。へき地巡回診療にご興味のある方はいつでもお気軽にお問い合わせください。



## 富山県看護連盟からの 義援金

令和6年8月8日(木)富山県看護連盟より大井きよみ会長、塚原千恵子副会長、後谷弘美幹事長の3名が来訪し、大井会長から、令和6年能登半島地震で被災した当院とその看護職員に対して義援金が贈呈され、福田昭宏副院長と、向千春看護部長が代表で受け取りました。

大井会長からは、被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、義援金を役立てていただきたいとお言葉を頂戴し、向看護部長から感謝の意が述べられました。

氷見市で自宅が倒壊した職員にとっては、まだ震災の爪痕は深く、復興に向けて長い道のりとなっております。富山県看護連盟の皆様からの温かいお心遣いと励ましに対し、職員一同深く感謝申し上げます。



義援金贈呈式(左から福田副院長、大井会長、向看護部長)

## 第36回氷見病診連携症例 カンファレンス

場所 金沢医科大学氷見市民病院  
教育研修棟2階 合同カンファレンス室

令和6年8月20日(火)午後7時から、当院2階合同カンファレンス室において、「第36回氷見病診連携症例カンファレンス」を開催し、院外、院内から24名の医師等が参加しました。

このカンファレンスは、地域の医師会の先生方との連携により、地域医療の充実を図ることを目的として開催しています。

初めに、司会の耳鼻いんこう科 坪田准教授から、講師の脳神経内科 富岳教授の紹介がされ、「片頭痛と緊張性頭痛」を演題に、片頭痛と緊張性頭痛の違いや、併発した症例などの報告がされ、次に、胸部心臓血管外科 小畑講師より、「静脈疾患が原因の皮膚潰瘍治療はどうするのか?」と題し、皮膚潰瘍治療について予防用弾性ストッキングの重要性や適正な使用方法について紹介されました。

今後も、このカンファレンスが氷見市医師会との病診連携をより一層深めることに期待しています。



## 令和6年度 第2回市民公開講座

場所 氷見市芸術文化館

令和6年9月14日(土)午後1時30分から、氷見市芸術文化館で第2回市民公開講座を開催しました。今回は、「専門医に学ぶ身近な病気のはなし」をメインテーマに、胸部心臓血管外科の小畑医師と呼吸器内科の山田医師がそれぞれの専門分野から講演を行いました。

はじめに、小畑医師が「エコノミークラス症候群を防ぐには」と題し、エコノミークラス症候群の原因や治療法、基本的な予防法について解説しました。社会構造の変化により、エコノミークラス症候群を発症しやすい環境が増加していることや、災害との関連性にも触れ、実際に予防法を試している受講者もみられました。続いて、山田医師が「誤嚥性肺炎について」と題し、肺の働きや肺疾患について説明した後、誤嚥性肺炎の診断や治療法について解説しました。誤嚥性肺炎は再発しやすいため、患者本人だけでなく介護者も誤嚥性肺炎に対する知識を深めることが重要であることが分かりました。

来年度以降も、市民の皆様が健康な毎日を送る手助けとなるよう継続的な開催を行ってまいりますので、ぜひご参加ください。



小畑 貴司 医師  
(胸部心臓血管外科 科長)



山田 真也 医師 (呼吸器内科)

病院からの

# お知らせ掲示板

## 医師異動・着任のお知らせ(皮膚科)

皮膚科に、11月1日付で小野医師に代わり、高宮医師が着任しました。常勤医師2名体制で、今後も患者さんに寄り添った質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。よろしく申し上げます。

### ■外来担当医表(11月1日～)

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	西部	西部	—	西部	西部	第2・4週 西部
	2診	高宮	高宮	高宮	—	高宮	第2・4週 高宮
午後	1診	西部	手術検査	手術検査	手術検査	西部	
	2診	高宮				高宮	

**着任** [皮膚科]  
たかみや ゆうこ  
高宮 悠子 医師



高宮 悠子 医師

**退任** 小野 瑠子 医師  
(10月31日付)

## 採血室前の 案内用電子掲示板の設置について

採血室の入口前に、案内用電子掲示板を設置しました。電子掲示板は、採血の待ち状況がわかるよう「整理番号」や「待ち時間」を表示しております。採血室内の待合スペースにも従来から表示板を設置しておりましたが、患者さんが多く混雑する場合など採血室外でお待ちになっている患者さんにもご覧いただけるよう、新たに設置しました。ぜひご活用ください。



## インフルエンザワクチン接種のご案内

**実施期間**  
令和6年10月1日～令和7年1月31日

月曜日～金曜日(午前のみ) ※土日・祝日は行いません

**対象**  
氷見市に住民登録のある方(未就学児は富山県内全て)

**一般(18歳以上の方) ※助成対象者は助成後の金額です**

- ・高校生、65歳以上 …………… 1,500円(助成対象)
- ・18歳～65歳未満 …………… 4,500円(助成対象外)

【受付方法】 予約は不要です。

- インフルエンザワクチンの予防接種を希望される方は、専用受付(総合受付前)までお越し下さい。(受付時間:8時30分～11時)
  - 専用受付に整理券番号札がありますので、整理券番号札を取ってお待ちください。
  - 受診予約日に予防接種を希望される方も、受診前に専用受付(総合受付前)までお越しください。
- ※65歳以上の方は、氷見市からインフルエンザワクチン接種の予約票が郵送されます。**必ず予約票をご持参のうえお越しください。予約票をお持ちでない方は予防接種ができません。**

**小児(小学6年生まで) ※料金は助成対象後の金額です**

- ・小児(小学6年生まで) …………… [1回目] 1,500円 **要予約**  
…………… [2回目] 500円 **要予約**
- ・中学生は1回のみ接種 …………… 1,500円 **要予約**

【受付方法】 **予約が必要**です。

- お電話で予約いただき、来院ください。(小児予約: J受付 内線2100)
- 小児及び中学生の予防接種の受付は、2階J受付までお越し下さい。
- 小児及び中学生の方は、**受給資格証(ピンクのカード)を必ずお持ち下さい。**

### ■問い合わせ

金沢医科大学氷見市民病院 医事課(内線1022)

※当院では新型コロナウイルスワクチン接種を実施いたします。予約は不要です。詳しくは、医事課までお問い合わせください。

## 年末年始 休診のお知らせ

12月30日(月)～1月3日(金)の間は、外来診療を休診します。なお、緊急の場合や救急患者さんについては、救急外来にて常時対応しています。

～患者さんへのお願い～

- ◎受診の際は必ず健康保険証をご持参ください。
- ◎夜間や休日は救急患者さんの診療を優先的に行っています。

緊急を要しない場合は、できるだけ通常の診療時間内に受診いただくようお願いします。

## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

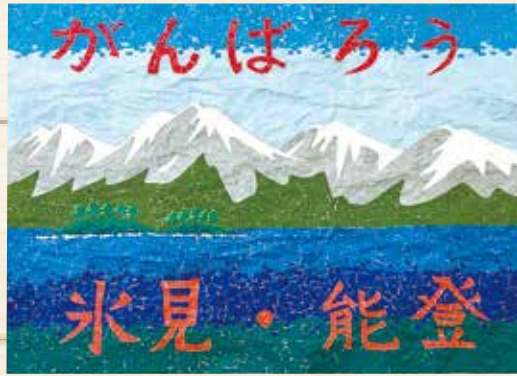
当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で高質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っています。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。



「**がんばろう 氷見・能登**」

通所リハビリテーション利用者さんの手先のリハビリを兼ねて、毎回いろいろな作品を制作しています。

今回は、「がんばろう氷見・能登」をテーマに、氷見の海、蛇が島、立山連峰をちぎり絵で制作しました。今年の元日(令和6年1月1日)に能登半島地震が発生し、被害を受けた利用者さん、もいらっしやいます。現在も復興半ばの地域もあり、一日も早く元の生活に戻るよう、復興祈願や応援の意味を込めて、利用者さんと共同で制作しました。

今回の作品は、制作を開始した当初はコロナ感染者数の増加等により、思うように作業が進まず完成までにずいぶん時間がかかってしまいましたが、利用者



さんの心のこもった素敵な作品に仕上がりました。

完成した作品は通所リハビリテーションの事業所内に展示した後、現在は、病院1階の外来に展示してあります。来院者の方に広く目に留めていただければ幸いです。病院を訪れる際はぜひご覧ください。



## 表紙について

先月、家族でいしかわ動物園(石川県能美市)に行ってきました。

動物と触れ合うことで「オキシトシン」というホルモンが分泌されるそうです。「オキシトシン」には心身をリラックスさせる効果があるとも言われております。その日はあいにくの雨模様で、触れ合うことは難しかったのですが、動物たちを見ているだけでもオキシトシンが分泌されたような気がするくらい癒されてリラックスができました。

我が家にはペットがいないため、またオキシトシンを求めて動物園に行きたいと思います。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてから、様々なイベントが再開されており、当院も自粛していた行事については感染対策を講じたうえで開催いたしました。

当院では、5類へ移行後も感染対策として、新型コロナウイルス感染症に罹患した患者さんや職員に対しては隔離対応をとっており、入院患者さんへの面会についても引き続き制限を設けております。患者さんやご家族にはご不便をおかけしております。ワクチン接種も一段落しましたが、感染症が無くなることは有りません。これからも油断することのないよう、日頃の管理を大切にしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

かけし秋号編集委員 事務部 宮井 公一

## ■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。